

JOYO BANK NEWS LETTER

2025 年 4 月 11 日

AI 技術で疑わしい取引のモニタリングを効率化・高度化へ ～新たなサービスの導入によりマネーロンダリング/金融犯罪対策を強化～

常陽銀行(頭取 秋野 哲也)は、株式会社マネー・ローンダリング対策共同機構(代表執行役社長 阿部耕一 以下、「共同機構」)が提供する「AI スコアリングサービス」と SCSK RegTech Edge 株式会社(代表取締役社長 増田 秀穂 以下、「SCSK-RE」)が提供する「BankSavior Monitor」の「AI モデル」の利用を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、SCSK-RE 社の取引モニタリングシステム「BankSavior Monitor」を活用し、特殊詐欺やマネーロンダリングなどが疑われる取引を検知し、担当者が顧客属性や取引態様、過去の事例などをもとに「疑わしい取引の届出」の要否を判定しています。今回、AI 技術で疑わしさのレベルをスコア化する「AI スコアリングサービス」を導入し、判定業務の効率化を図ります。さらに、「BankSavior Monitor」の「AI モデル」を活用し、従来のルール(不正パターン)では検知が難しかった不正取引の検知が可能となり、ますます巧妙化・多様化する金融犯罪への対応を強化します。

当行は、今後もお客さまの大切な資産を守るためマネーロンダリングや金融犯罪への対策強化を行ってまいります。

記

1. 「AI スコアリングサービス」の概要

本サービスは、共同機構が 2025 年 4 月 1 日から提供開始したサービスで、金融機関が利用する取引モニタリングシステムと連携して活用するサービスです。当行では「BankSavior Monitor」と連携し、ルール(不正パターン)により検知した取引のリスク度合いをスコア化し、誤検知を含む大量の検知について業務効率化を図ります。

2. 取引モニタリングシステム BankSavior Monitor の「AI モデル」の概要

本 AI モデルは SCSK-RE が 2024 年 7 月 1 日より提供開始したもので、「BankSavior Monitor」にオプション機能として搭載されます。あらかじめ設定したルール(不正パターン)とは別に、全取引のリスク度合いをスコア化し、過去取引を学習することで高精度な不正取引の検知が可能になります。

3. 各システムの導入日

2025 年 4 月 1 日(火)



常陽銀行



常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

<株式会社マネー・ローンダリング対策共同機構の概要>

所在地	東京都千代田区丸の内一丁目3番1号 銀行会館
代表者	代表執行役社長 阿部 耕一
事業内容	為替取引分析業、為替取引分析関連業務
ホームページ	https://www.caml.co.jp/index.html
株主構成	一般社団法人全国銀行協会 100%

<SCSK RegTech Edge 株式会社の概要>

所在地	東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア
代表者	代表取締役社長 増田 秀穂
事業内容	為替取引分析業および為替取引分析関連業務ならびにこれらに附帯関連する事業
ホームページ	https://scsk-re.co.jp/
株主構成	SCSK 株式会社 100%

以 上